

2018年(平成30年)2月14日(水) 第27回 例会 (通算2779回)

国際ロータリー 第2580地区

(今月のロータリーレート:1ドル110円)

# 石垣ロータリークラブ週報

No. 2646

会長: 大浜 一郎 副会長: 遠藤 正夫 幹事: 宮城 早人 副幹事: 池城 貞光



RI 会長:  
イアン H. S. ライズリー

ロータリー:  
変化をもたらす

## ●クラブテーマ「絆とおもいやり」

例会日 水曜日 12:30~13:30  
例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311  
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4  
TEL/FAX(0980)83-2917  
http://ishigaki-rotary.jimdo.com  
E-mail ishirotary@ninus.ocn.ne.jp

地区ガバナー: 吉田 雅俊氏「感動と調和」



◎冬の大三角形  
—南の空に輝くオリオン座の赤い一等星ベテルギウス、その左下の星空の中で一番明るいおおいぬ座のシリウス、そしてベテルギウスの左にあるこいぬ座の一等星プロキオン、この三つの星が作る三角形

## 2月7日(水)第26回(通算2778回)例会報告

<司会進行> 櫻井 浩一

ロータリーソング・「君が代」「四つのテスト」

ソングリーダー・橋本 孝来

ゲスト・根路銘 敦氏(地区研修サブリーダー)

ビジター・江川 誠一郎・順子氏(京都洛東 RC)

與那城 圭氏(那覇東 RC)

メイクアップ・・・上原晃子・小底厚子・仁開一夫

大濱達也・小林昌道・宮良 薫・今西敦之

出席報告

会 員 総 数	43名
出席 義務 会員	42名
出 席 数	24名
欠 席 数	18名
出 席 率	57.14%
通算出席率(2月)	57.14%



## 本日のにこにこ

・根路銘さん、與那城さん、江川さん、本日はありがとうございます。  
(宮城 早人)

・根路銘先輩、勉強になりました。ありがとうございます。  
(大浜 一郎)

BOX ￥ 2,000 (累計¥142,000)

コイン ￥ 0 (累計¥ 61,002)

合 計 ￥ 203,002

## 会長挨拶：大浜 一郎



皆様こんにちは。私の任期も6ヶ月を切ったところで、ほっとしていると同時に、きちっと次年度に引き継ぎたいという所で、当初掲げた45名体制をぜひ実現をしたいと、あと3名で達成されますので、皆様のご紹介等々よろしくお願ひしたいと思います。

2月に入って、石垣島も体感温度が6度とか日によっては5度くらいに感じるくらい、連日続いていまして、風が吹くから体感温度が下がっていると思います。事務所はほとんど経費節減で暖房を入れておりませんので、ヒータを付けておりますが、それでも寒いなという感じがします。一方では暑い2月というものがあります。名護においても暑い戦いが終わったばかり。また石垣においても暑い戦いがヒートアップしてくるでしょう。11月までずっとそのような形で行くのが今年の特徴でございます。戊年と言うのは何か新しいのを生み出す年とも言われております。ぜひ色々な立場、色々な考えの方がいらっしゃると思いますが、ロータリークラブとしても公職に就く人に関しては、非常に興味を持っていますと言う事は入会の時に皆様にお読みしております。ぜひ賢明な判断を個々の皆様にして頂いて、この町が良くなるための1票をぜひ参加して頂ければなと思います。

さて、今日は私の青年会議所時代の先輩でもあります根路銘先輩が、いらっしゃっております。昔から尊敬する先輩で、色々な委員会においても理路整然とされている先輩というイメージがずっとありました。今日は勉強させて頂ければなと思います。よろしくお願ひ致します。



## ゲスト卓話：根路銘 敦氏

### 地区研修サブリーダー



### テーマ「ロータリー情報」



1905年2月23日に、第1回シカゴロータリークラブ定例会が開催されました。毎年2月23日はロータリーの創立記念日という事で、世界中でこの日を祝っています。ロータリーの誕生の背景は20世紀の初頭アメリカはテクノロジーの発展と資本の高度化により大量生産、大量消費、拝金主義化した金儲けオンリーの主義になり、商道徳も低下し、人心が荒廃した時代でした。いわゆる自分さえ儲かったらいいと、だまされた人が悪いんだという時代でした。それを鼓舞して1905年、アメリカのシカゴで、ポール・ハリス、シルベスター氏など4名でロータリークラブを創りました。最初は名前の候補が16ほどありましたが、歯車のように回っていくという意味でロータリークラブとなったという事です。ロータリーは創立の時からそうですが、1業1名という非常にかたくなに貫いていました。しかしながら長い時間と共に、現在では1業5名まで、50名以上のクラブは10%までと緩和されていますが、基本的にはロータリーは1業種1名で、自分と違う職業の人達と友達になって、自分の仕事、職業を広めていこうという想いで、ポール・ハリス以下4名はクラブを創りました。誰でもいいから入って良いというわけではないんです。基本的に我々は仕事を通して地域社会に貢献をして行くという事をやっていますので、ロータリーの職業分類については非常に意識が高い、特に在京クラブではとても厳しくしています。私たちが入会した頃は、スポンサーが2名いないと入れないという時代でしたが、今はロ

ロータリーに入りませんかと事で、いろんな所に声をかけロータリーに入れようとしています。これは個人的には賛成しかねる部分があります。すそ野を広げてしまった事によって、色んな問題が起きています。例えば、規定審議会で入会に関して非常に緩和をされました。職業を持っていない人でも入って良いとか、法人会員、家族会員まで入れてきて拡大路線を走り続けています。それに問題があるという事で、日本のロータリークラブでは、今度の規定審議会で反対の意見を出すはずで

す。

ロータリー113年目、当初の頃から現在の形ではなく、紆余曲折ありました。ロータリーは社会奉仕だと謳っていた人達、いや職業奉仕だと謳っていた人達、ロータリーができてから20年間というのは揉めていたと聞いています。その中から出てきたのが、決議23-34、1923年セントルイス大会の第34号議案です。社会奉仕に関する宣言の23年の声明、これはロータリーがロータリーであるための自分達を納得させるための声明です。方向をこの決議によって決めたとされています。その中から四つのテストが生まれたり、いろんな物が生まれてきました。そういう歩みの部分どこで知るかというと、マイロータリーに書かれています。3年に1度規定審議会でいろんな提案をします。ロータリーは常に変化をしているというふうに思ってください。特に近年、規定審議会の位置づけが非常に重きを置いています。3年に1度ですから、2019年に行われますが、規定審議会の中でいろんな事がどんどん変化をしていっている。今度出てくる案の中に、出席に関して緩和をしています。ロータリーの基本は例会なんです。週1回集まって顔を見ながら情報交換するという事がとても大事なことだと思いますので、毎週1回この例会場で皆さんが集まって例会を楽しむという事は、とても大切な事だと思いますので、頑張ってください。

助数詞の話をして下さい。日本語は助数詞が非常に発達していて、500種類くらいあるそうです。最近では日本語の数の数え方について、とても難しく面倒くさいと敬遠され、何でも1つとか何個というふうに済ませる傾向があるそうです。例えば鮪の数え方、生きていた時は何匹と言います。釣りが上がると何本、三枚におろして半分にしたもの丁、ブロック状にしたものをコロという言

い方になって、寿司屋のショーケースの大きく分けたものを冊となって、刺身に大きくなると切れという言い方になります。それは情報なんです。その数え方が分かると、まぐろ3切れとなると、こういう姿なんだ、まぐろ3本となると、こういう姿なんだと、いわゆるどの状態、姿が分かる。助数詞が情報という物です。ロータリークラブも一緒です。言葉の意味を理解しないと、違う方向へ会員を導いてしまう。懇親会での発言、よくロータリーは親睦に始まり親睦に終わるという誤解、勘違いを招く発言をしています。フェロシップ(親睦)、懇親ではないということです。会員同士の集まり=懇親会、親睦活動の名の下で夜間例会と称して、定例会をする事は実は間違った解釈なんです。多くのロータリアンの皆さんが誤解をしています。フェロシップの概念、1つの理念の下、活動している団体の中で、共有する仲間意識や連帯感。会員同士の楽しむ懇親会はフレンドシップという言い方をします。ロータリーが定義する親睦、これはどんな辞書にも出てきません。例会の場で職業上の情報交換や交流を通じて分かち合いの精神による、事業の継続性及び友情を深め自己改善を図りその結果として奉仕の心が育まれてきます。そういう一連の活動の事をロータリーでの親睦と呼んでいるんです。「出でて奉仕せよ」という看板が各クラブの例会場の入り口には置かれているはずで

す。なければぜひ石垣RCも会場の入り口に置いて頂ければと思います。目に見えない石垣RCの伝統や誇り、それを目に見える形にするには、週報であったり理事会であったり、各種委員会の活動、財団への寄付などがあります。

毎週水曜日の定例会をぜひ大切にしましょう。たんたんと例会を実施する事はとても大切な事です。未来というのは突然現れません。例会の1つ1つの積み重ねなんです。一生の間に出会う人の数、2017年世界の人口が72億だとすると、何らかの接点を持つ人が3万人いるそうです。24万分の1、同じ学校や職場、ご近所が3,000人だそうです。親しく会話を持つ人300人、友人と呼べる人30人、親友と呼べる人3人というデータがあります。ですからロータリーで出会った我々は奇跡かもしれません。毎週行われる例会には色んな情報や出会いがあります。来週もぜひ皆さんで石垣RCの定例会を楽しんでほしいと思います。

現在沖縄分区のガバナー補佐は 1 名です。2018-19年度は2名ガバナー補佐を指名しました。沖縄11クラブある中で1人のガバナー補佐で回るのは非常に厳しいので、2 つに分けてよりきめ細かなサポートをしようと言う事で、松阪年度から2 人制にしました。2019-20 年新本年度には石垣からガバナー補佐が出てもいいのかなと思っています。

最後に地区の IT の話をします。離島の IT 推進が鍵だと思っていて、現在ガバナー事務所と那覇 RC 事務所がテレビ会議を通して色んな委員会をしております。現在は地区のクラブ奉仕委員会の副委員長も兼任しておりますので、東京で委員会がある時にはフェイスタイムを使って沖縄にしながら、東京の皆さんと委員会をしています。ですから石垣宮古もフェイスタイムを使ったり、いろんな通信方法で、いずれかの方式で通信ができるようにしたいと、次年度も私は地区の研修サブリーダーと地区クラブ奉仕副委員長と兼務しておりますので、私の守備範囲の中に離島対策なさいという指示をずっともらっていますので、石垣とネットを中心として話ができないか考えています。わざわざ那覇や東京へ行くのは大変なんです。できれば今年度中 6 月末までに通信のテストをさせて頂いて、離島の情報格差をなくして行きたいと思っております。

## 例会風景



### <2月>

7日 ゲスト卓話 根路銘 敦氏  
(地区研修サブリーダー)

14日 ゲスト卓話 嶋村 文男氏  
(東京東江戸川 RC)

21日 地区大会のため振替休会

28日 **特別休会**



### <3月>

7日 夜間例会 創立 58 周年チャーターナイト  
(船上パーティー)

### <4月>

18日 夜間例会 台北大同 RC 姉妹締結式



京都洛東 RC・江川氏とバナー交換！